

令和3年度

博士課程前期課程  
入学試験専門科目  
標準的参考文献

神戸大学大学院  
経営学研究科

前期Ⅰ期

## A : 経営組織・経営戦略

- (1) Daft, R. L. (2001) *Essentials of Organization Theory and Design* (2nd ed.), South Western College Publishing (高木晴夫訳『組織の経営学』ダイヤモンド社, 2002年).
- (2) Franco Amatori and Andrea Colli, *Business History: Complexities and Comparisons*, Routledge, 2011 (西村成弘・伊藤健市訳『ビジネス・ヒストリー グローバル企業誕生への道程』ミネルヴァ書房, 2014年).

## B : 組織行動・人的資源管理

- (1) Robbins, S. P. (2005) *Essentials of Organizational Behavior*, Pearson Education (高木晴夫訳『新版 組織行動のマネジメント』ダイヤモンド社, 2009年).
- (2) Bratton, J. and Jeffrey, G. (2003) *Human Resource Management: Theory and Practice* (3rd ed.), Palgrave Macmillan (上林憲雄ほか訳『人的資源管理 ―理論と実践―』文眞堂, 2009年).
- (3) 上林憲雄編著(2016)『人的資源管理(ベーシック+)』中央経済社.

## C : 経営数学・統計

### 経営数学

線型代数学と微分・積分・解析学の基礎的知識を問います。代表的な参考書には次があります。

- (1) 岡田章(2001)『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社.
- (2) 入谷純・加茂知幸(2016)『経済数学』東洋経済新報社.

### 統計

- (1) Hoel, P.G. (1984), *Introduction to Mathematical Statistics*, Wiley. (浅井晃・村上正康訳『入門数理統計学』培風館、1978)
- (2) 東京大学教養学部統計学教室 (1991)『統計学入門 (基礎統計学 I)』東京大学出版会.

## D : 財務会計

- (1) 神戸大学会計学研究室 (2019)『会計学基礎論(第6版)』同文館出版.(第7章, 第10章を除く)
- (2) 中野常男 (2000)『複式簿記会計原理(第2版)』中央経済社.(第1章～第9章, 第22章)
- (3) 桜井久勝 (2020)『財務会計講義(第21版)』中央経済社.

## E : 管理会計

- (1) Datar, S. M. and M. V. Rajan, 2017. *Hornsgren's Cost Accounting :A Managerial Emphasis, Global Edition (16th Edition)*, Pearson Education Limited. (ISBN-10: 1292211547)
- (2) 谷武幸 (2013)『エッセンシャル管理会計(第3版)』中央経済社.(ISBN-10: 4502085901)
- (3) 谷武幸 (2012)『エッセンシャル原価計算』中央経済社.(ISBN-10: 4502450006)

## F : マーケティング

- (1) Kotler, P. and Keller, K. L. (2005) *Marketing Management* (12th ed.), Prentice Hall (恩蔵直人監修, 月谷真紀訳『マーケティング・マネジメント(第12版)』ピアソン・エデュケーション, 2008年).
- (2) 石井淳蔵・嶋口充輝・余田拓郎・栗木契 (2004) 『ゼミナール マーケティング入門』日本経済新聞社.
- (3) 池尾恭一・青木幸弘・南 知恵子・井上哲浩 (2010) 『New Liberal Arts Series マーケティング』有斐閣.

## G : 流通

- (1) 田村正紀 (2002) 『流通原理』千倉書房.
- (2) 矢作敏行 (1996) 『現代流通』有斐閣.
- (3) 高嶋克義 (2012) 『現代商業学[新版]』有斐閣.

## H : ファイナンス

ファイナンスの基礎は、証券投資論(インベストメント)、企業財務論(コーポレートファイナンス)、金融市場論(ファイナンシャルシステム)から構成されます。出題範囲については、以下の代表的な文献の指定された章を参照してください。

- (1) 小林孝雄・芹田敏夫 (2009) 『新・証券投資論 I 理論篇』日本経済新聞社, 第1章~4章, 第8章.
- (2) Berk, Jonathan, and DeMarzo, Peter (2014) *Corporate Finance (3th Edition)*, Pearson, Chapter 3~16 (久保田敬一・芹田敏夫・竹原均・徳永俊史訳 『コーポレートファイナンス入門編・応用編(第2版)』丸善出版, 2014年, 第3章~第16章)
- (3) 内田浩史 (2016) 『金融』有斐閣, 第1章~第10章.

## I : 交通

- (1) 山内弘隆・竹内健蔵 (2002) 『交通経済学』有斐閣.
- (2) 正司健一 (2001) 『都市公共交通政策』千倉書房.
- (3) 村上英樹ほか編 (2006) 『航空の経済学』ミネルヴァ書房.
- (4) 宮下國生 (2011) 『日本経済のロジスティクス革新力』千倉書房.

## J : 経済学

ミクロ経済学の基礎をきちんと学び、モデルを用いて経済学を理解・運用できるようにしてください。代表的な参考書には次があります。

- (1) 丸山雅祥・成生達彦 (1997) 『現代のミクロ経済学』創文社.
- (2) Varian, H. R. (2014) *Intermediate Microeconomics: A Modern Approach* (9th ed.), W.W.Norton (佐藤隆三訳 『入門ミクロ経済学 [原著 第9版]』勁草書房, 2015年).